



2013年12月12日

各位

会社名 丸紅株式会社
代表者名 取締役社長 國分 文也
(コード番号 8002 東証第1部)
問合せ先 広報部報道課長 花田 多雄
(TEL 03-3282-4805)

会社分割に関するお知らせ

丸紅株式会社(以下、「丸紅」といいます)は、本日開催の取締役会において、以下の通り、丸紅100%子会社である丸紅アクセスソリューションズ株式会社(以下、「MAS」といいます)の運営事業(以下、「本事業」といいます)を会社分割によって、丸紅より新設会社に承継(以下、「本会社分割」といいます)させ、また本会社分割を以って新設会社の子会社となるMASが、株式会社UCOM(以下、「UCOM」といいます)と平成26年2月1日を効力発生日として合併することを決議しましたので、お知らせ致します。

なお、本会社分割は単独新設分割であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しております。

1. 会社分割の目的

丸紅は、ICT関連ビジネスの更なる拡大・推進の一環として、MASとUCOMの合併を目的として本事業を会社分割により新設会社に承継させます(合併の概要は添付資料参照)。

2. 会社分割の要旨

(1) 会社分割の日程

新設分割計画承認取締役会決議日	平成25年12月12日
分割期日(効力発生日)	平成26年1月31日(予定)

※本会社分割は、会社法第805条に規定する簡易分割であるため、株主総会の承認を得ることなく行います。

(2) 会社分割の方式

丸紅を分割会社とし、新設会社を設立する新設分割(簡易分割)方式です。

(3) 会社分割に係る割当ての内容

新設会社は、本会社分割に際し普通株式1株を発行し、丸紅に対して当該普通株式全てを割当交付致します。

(4) 会社分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

丸紅は、新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりません。

(5) 会社分割により増減する資本金

本会社分割により減少すべき資本金はありません。

(6) 新設会社が承継する権利義務

新設会社は、丸紅から、本日付新設分割計画書に定めた権利義務を承継致します。なお、新設会社は、丸紅から、債務及び雇用契約を承継致しません。

(7) 債務履行の見込み

新設会社が負担する債務はありません。

3. 会社分割の当事会社の概要

	分割会社 (平成 25 年 3 月 31 日現在)	新設会社 (分割期日予定)
(1) 名称	丸紅株式会社	MAS ホールディングス株式会社
(2) 所在地	東京都千代田区大手町一丁目 4 番 2 号	東京都千代田区大手町一丁目 4 番 2 号
(3) 代表者の役職・氏名	取締役社長 國分 文也	代表取締役社長 南 晃
(4) 事業内容	内外物資の輸出入及び販売業等	MAS の運営事業
(5) 資本金	262,686 百万円	1 円
(6) 設立年月日	昭和 24 年 12 月 1 日	平成 26 年 1 月 31 日
(7) 発行済株式数	普通株式 1,737,940,900 株	普通株式 1 株
(8) 決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
(9) 従業員数	(連結) 33,566 名	0 名
(10) 大株主及び持株比率	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) 5.35% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 4.80% 株式会社損保ジャパン 3.23%	丸紅株式会社 100%
(11) 当事会社間の関係		
資本関係	分割期日に、丸紅が新設会社の株式を 100%保有し、新設会社は MAS の株式を 100%保有致します。	
人的関係	新設会社の設立時取締役 3 名及び設立時監査役 1 名を丸紅から派遣します。	
取引関係	取引関係はありません。	
(12) 直近 3 年間の経営成績及び財務状況 (単位: 百万円。特記しているものを除く)		
丸紅株式会社 (連結)		

決算期	平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期
連結純資産	831,730	915,770	1,188,379
連結総資産	4,679,089	5,129,887	5,965,086
1 株当たり連結純資産 (円)	478.57	526.92	683.78
連結売上高	9,020,468	10,584,393	10,509,088
連結営業利益	145,774	157,315	122,932
連結税引前当期純利益	207,217	260,983	247,543
連結当期純利益	136,541	172,125	205,696
1 株当たり連結当期純利益(円)	78.63	99.13	118.48
1 株当たり配当金 (円)	12.00	20.00	24.00

4. 分割する事業部門の概要

(1) 分割する部門の事業内容

MAS 運営事業

(2) 分割する部門の経営成績 (平成 25 年 3 月期)

(単位：百万円)

	MAS 運営事業 (a)	丸紅連結 (b)	比率 (a/b)
売上高	0	10,509,088	0%

(3) 分割する資産、負債の項目及び帳簿価格 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

(単位：百万円)

資 産		負 債	
項 目	帳 簿 価 格	項 目	帳 簿 価 格
流動資産	0	流動負債	0
固定資産	17,225	固定負債	0
合計	17,225	合計	0

5. 会社分割後の丸紅及び新設会社の状況

本会社分割後の丸紅及び新設会社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期については、「3. 会社分割の当事会社の概要」をご参照下さい。また、新設会社の 100%子会社となる MAS は平成 26 年 2 月 1 日を効力発生日として UCOM と合併し、新設会社の当該合併の存続会社に対する議決権保有比率は 49%となる予定です。

6. 今後の見通し

本会社分割が丸紅の業績に与える影響は、軽微なものを見込んでおります。

以 上

添付資料「合併の概要」

<添付資料>

合併の概要

1. 合併の目的

UCOM は、FTTx (Fiber To The Home or Office) と呼ばれるラストワンマイルのブロードバンドアクセス網を保有し、世界で初めて、光ファイバーによる個人向けインターネット接続サービスの提供を開始した認定電気通信事業者です。自社ネットワークサービスによる光ファイバーインターネット接続サービス「UCOM 光」ブランドを積極的に展開し、法人・個人のお客様向けにブロードバンド環境を提供 (約 50 万契約) しております。特に集合住宅を対象とした全戸一括型契約の分野においては、国内トップクラスのブランドに成長しております。

また、MAS は、日本国内に基幹中継回線網である大容量光ファイバーケーブル・ネットワークを保有し、ブロードバンド時代のビジネスを支える最先端のネットワークサービスを提供する認定電気通信事業者として主に法人のお客様向けに、専用線、IP-VPN、インターネット接続、及びモバイル等のデータ通信サービスを幅広く提供しております。

基幹中継回線網を持つ MAS と、ラストワンマイルの FTTx 網を持つ UCOM のネットワークは相互補完関係にあることから、両社の事業・インフラを統合することにより、今まで実現できていなかった新サービスの開発などによる更なる事業の広がりが期待できます。また、規模のメリットによる合併シナジーの創出も期待できます。この度、UCOM 及び MAS は、相互の特色を活かしたブロードバンドインフラ及び関連ソリューションを展開する独立系のリーディングプロバイダーを目指すことが両社の企業価値向上にとって望ましいとの結論に至り、本合併を実施することに合意しました。今後企業の IT インフラ環境は、更なる業務効率化やコスト削減の追求、セキュリティ強化及びビッグデータの利活用などの観点から更なるクラウド化や高速化が進むことが想定され、それに適した通信サービスが求められていきます。一方、個人の IT インフラ環境では、動画視聴やホームエネルギーマネジメントシステム (HEMS) 等の普及によりブロードバンド活用が今後さらに加速することが予想され、大容量で高品質な回線への需要が高まることが予想されます。本合併を実施することによって、これら法人・個人両お客様の需要にしっかりと応えていく事業基盤の確立・強化拡大が可能となり、ひいては全てのステークホルダーに対して長期にわたってより大きな付加価値を提供していくことが可能となると考えております。

UCOM 及び MAS は、本合併のシナジーとして以下を想定しております。

① 事業基盤の強化・拡大

MAS の基幹中継回線網と UCOM の FTTx 網を活用して、今まで実現出来ていなかった新サービスの開発などを行うことで、両社が今まで取り込めていなかった法人市場の開拓を行っていきます。また、両社の法人市場を中心とした顧客基盤や、これまで両社と取引実績のある販売パートナー、不動産デベロッパー等の販売チャネルを活用し、クロスセルやワンストップサービスの提供等、営業面での強化・拡大を目指します。

② ネットワーク設備の統合・共用

両社で保有するバックボーンネットワーク、その他通信設備（ノード）等の集約・最適化による関連設備の稼働効率の向上とコスト削減を行うと共に、保守運用体制の一元化による効率化も検討していきます。

③ 技術力・人材力の強化・拡充

両社の技術者の融合による提案力・技術力・ソリューション提供力の向上により、高度化・多様化する顧客ニーズへの対応力を強化していきます。

UCOM 及び MAS は、本合併による両社の統合の目的を迅速かつ円滑に推進することを目的として、統合に関する重要事項について協議し、両社間におけるコンセンサスを形成するための機関として、共同で統合委員会を設置することに合意しており、上記各事項の詳細については、今後統合委員会で協議していく予定です。

2. 合併の日程

合併契約締結	平成 25 年 12 月 12 日
合併契約承認株主総会	UCOM:平成 26 年 1 月 7 日（予定） MAS :平成 26 年 1 月 23 日（予定）
合併期日（効力発生日）	平成 26 年 2 月 1 日（予定）

3. 合併方式

両社是对等の立場で合併しますが、会社法上の手続としては、MAS を存続会社とする吸収合併によることを予定しております。

4. 合併当事者の概要

平成 25 年 11 月 30 日現在

	MAS（存続会社）	UCOM（消滅会社）
(1) 名称	丸紅アクセスソリューションズ株式会社	株式会社 UCOM
(2) 事業内容	データ通信サービス事業、データセンター・サービス提供事業	電気通信事業法に基づく電気通信事業、データセンター事業、電気通信工事業
(3) 設立年月日	平成 9 年 11 月 4 日	平成 25 年 4 月 18 日
(4) 本店所在地	東京都千代田区大手町二丁目 6 番 1 号	東京都港区芝浦四丁目 2 番 8 号
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 齊藤 秀久	代表取締役社長 大澤 智憲
(6) 資本金	5,000 百万円	1,915 百万円
(7) 発行済株式数	488,102 株	4,824,650 株

(8) 決算期	3月31日	8月31日
(9) 株主	丸紅株式会社	ユニゾン・キャピタル関連ファンド GEAM International Private Equity Fund,L.P. みずほキャピタル第3号投資事業有限責任組合 株式会社関電工 株式会社フォーバル 株式会社ミライト 株式会社 Daiko Communications 他

5. 合併後の新会社の状況

(1) 名称	本合併の効力発生日までに、両社が協議の上決定します。
(2) 事業内容	電気通信事業法に基づく電気通信事業、データ通信サービス事業、データセンター事業、電気通信工事業
(3) 本店所在地	東京都港区芝浦四丁目2番8号
(4) 代表者	代表取締役社長 大澤 智憲
(5) 資本金	5,000 百万円
(6) 決算期	3月31日
(7) 株主	丸紅グループ ユニゾン・キャピタル関連ファンド その他

6. 今後の見通し

本合併が丸紅の業績に与える影響は現在精査中であり、業績予想に修正の必要が生じた場合、速やかにご報告致します。

以上